令和　　年　　月　　日

公益財団法人えひめ産業振興財団

理事長　大塚　岩男　 様

所属機関名又は事務所名：

申請者氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　印

「令和２年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」（愛媛県

よろず支援拠点コーディネーター）に係る応募申請について

「令和２年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」（愛媛県よろず支援拠点コーディネーター）について、下記の書類を添えて応募いたします。

記

1. コーディネーター応募申請書（様式１）
2. 暴力団排除に関する誓約書（様式２）
3. その他添付書類

（様式１）

コーディネーター応募申請書

※本様式は、コーディネーター応募者自身に記入していただく様式です。　　　　　　　（令和２年５月１日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな | | | 所属機関名又は事務所名 |
| 氏　　名  生年月日　　　　年　　月　　日生（　　歳） | | |  |
| 役職 |
|  |
| 所属機関又は事務所所在地：〒 | | | |
| 電話番号： | | | |
| メールアドレス： | | | |
| 主な資格・得意分野  （業務に必要な保有資格・得意分野を記載してください。また、保有資格の証明書の写しを添付してください。） | | | |
|  | | | |
| 履歴事項 | | | |
| （始期） | （終期・現職） | （所属・役職） | |
| 年　　月 | 年　　月 |  | |
| 年　　月 | 年　　月 |  | |
| 年　　月 | 年　　月 |  | |
| 年　　月 | 年　　月 |  | |
| 年　　月 | 年　　月 |  | |
| ①コーディネーターに応募しようと考えた動機について記述してください。 | | | |
| ②中小企業・小規模事業者に対する支援能力を有していると考える理由について自身の強みを交えて記述してください。 | | | |
| ③今までに中小企業・小規模事業者を支援した主な事例を記述してください。 | | | |
| ④自身で企図する相談者の掘り起こし等についての取り組み・方策について記述してください。 | | | |
| ⑤経営課題解決のために実施したい取り組み・方策（フォローアップ等）について記述してください。 | | | |
| ⑥１ヶ月当たりの業務実施可能日数  日／月 | | | |
| ⑦事例対応  次の相談事例に対し、あなたがコーディネーターならどう対応されますか。できるだけ具体的に記述してください。なお、相談内容について不足する事項については、ご自身で前提情報を仮説として設定して構いません。仮説内容も付記してください。（書類審査の対象とします。２枚以内に収めてください。図表は別）  ＜相談内容＞  【事例】  ・年商２億円（卸（仕入販売）と製造の２部門、売上比率50：50）  ・役員３名（社長、工場長、監査役（非常勤））、従業員数14名  ・地元に良質の原材料を確保できる仕入先がある。  県内で木材製品製造会社を経営するＡ社長（46歳）から次のような相談が寄せられた。  「当社は、大手ハウスメーカー（以下「メーカー」という。）の住宅建材に利用される木材加工品の部材を長年にわたり提供してきました。これまで、このメーカーの他に県内外の中堅製材業者などを得意先として事業を継続してきました。  ところが、私が社長に就任した２年前から売上の８割を占めるメーカーからの受注が不安定になり前期決算では売上が20％ダウンで営業赤字へ転落し、今期はさらに30％ダウンと大幅な低落傾向となっています。また、現在の工場建物、機械設備は、30年前に整備したものであり老朽化が進んでいるため、度々、建屋や機械を修繕しております。これらの急な出費も内部留保を取り崩して対応していますが、このままの状態が続くといずれ資金が底を突くのではないかととても不安です。  私も会社と従業員の将来に責任を負う立場から、メーカーに受注減少の要因を何度も質問しましたが、メーカー担当者からは「そのうち回復するだろう。」といった冷たい回答しかありませんでした。私は、少子高齢化による住宅建設件数の減少、多層階から平屋住宅に対する消費者ニーズの顕著化によって、当社が納入している部材へのニーズが少なくなってきているのではないかと感じています。そこへコロナショックで、、、、、、、、、。この先、経済が冷え込み、住宅建設件数がますます減少してしまうのではないかと戦々恐々としているところです。  当社の加工技術は、国産材でも輸入材でもどのようなサイズにでも加工ができるところかなと思っています。得意先からは「お宅の製品は納入後の取り扱いがし易い。精度が高い。不良品がない。」といった評価を耳にすることもあります。  何とか業績回復の道筋を描きたいのですが、営業活動は私と工場長が細々としてきたくらいで社内にノウハウがあるわけではありません。この先、資金難に直面しないように先手を打っておきたいのですが、業績が悪化しているため、銀行にも相談し辛いところが正直な胸の内です。当社は、何をどのような取り組みで業績回復していけば良いのか、具体的なアドバイスをお願いできませんか。」  【提案】 | | | |

※記述の際に行数が不足する場合は、適宜、追加してください。

※応募書類は、コーディネーターの選考以外の目的には使用いたしません。

（様式２）

令和　　年　　月　　日

　公益財団法人えひめ産業振興財団

　　理事長　大塚　岩男　様

申請者住所（郵便番号・所属機関又は事務所所在地）

申請者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

暴力団排除に関する誓約書

令和２年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（愛媛県よろず支援拠点コーディネーター）の応募に当たり、当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、以下のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

１　法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

２　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

３　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

４　役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながら、これと社会的に非難されるべき関係を有しているとき